

設計・計画部門



いそむら まさとし
磯村 雅敏

生年月日 1983年3月広島県生まれ
最終学歴 2005年大阪工業大学
工学部建築学専攻
業務経歴 2005年高松建設㈱入社
現在、大阪本店設計本部
課長代理

●担当した主なプロジェクト

2009年 医療法人啓明会 相原病院
2010年 医療法人明生会 明生クリ
ニック
2010年 ㈱三和電材本社
2011年 チェリー・ワン大和高田
2012年 医療法人正和会 協和病院
増築
2012年 オノマシン㈱本社
2013年 医療法人友隆会 有料老人
ホーム
2013年 ㈱テクノエイト本社
2014年 ㈱デューク本社
2015年 医療法人社団 永井医院
2016年 医療法人啓明会 相原病院
サテライトクリニック
2016年 医療法人岩木会 明生第二
病院
2016年 枚方信用金庫 四條畷支店

■青年技術者のことば

現代、人は物事の決断の多くを専門家と呼ばれる人に委ねて暮らしています。建築の分野も同様で、私は建築設計技術者という職務において、与えられている使命は何かを常に意識しています。建物は不特定多数の人に利用される中で都市の風景に溶け込み、公共的な存在になっていきます。風景を形成する職業に従事する我々の職責は多岐に渡り、技術者として一つの分野に精通した専門家であることに留まらず、他分野にも幅広く精通した総合的な知識と技術、判断力も求められており、クライアントのみならず、社会に対しても大きな責任を背負っていると考えます。この責任こそが技術者の使命であり、周囲からの信頼を得、状況に応じたより良い対処手段を生み出す原動力となっています。建築設計には正解が無く、それゆえ困難も多いですが、対話や何気ない日常などヒントは思いもよらないところにあり、そうした気を抜けない一瞬一瞬が私の人生を充実させてくれていると感じています。技術者としての責任を胸に、これからも社会に貢献する建物を作っていくために精進します。

■すいせん者

嶋村邦彦
高松建設(株) 大阪本店
執行役員 設計本部長

明生第二病院

老朽化した既存病院の建替えプロジェクト。将来増築を踏まえたプランニングと、もともと閉鎖的な既存病院のイメージを刷新するべく、街ゆく歩行者と隣を走る電車からの見え方を意識した。水平方向のスラブを通し、バルコニー内壁の色と対比させるとともに、敷地形状を活かしたリズム感のある外観デザインとした。病院らしい白を基調に、濃紺色をアクセントに配することで、建物を引き締め、外装イメージを内装コーディネートにも連続させ、サイン計画も含めて統一感を意識した。



枚方信用金庫 四條畷支店

老朽化した支店の建替えプロジェクト。建物に使用している素材一つ一つに企業の思いを込めた。金融機関が掲げる企業理念「共存共栄」を基に、L型のアルミパネルは「飛躍」、エッジウォールは土地に根ざす「安心」、カーテンウォールは「共存」「透明性」を表現した。また前面道路は歩道がない為、建物をセットバックして空地を設け、隣接する所有地も含めて歩道の整備を提案した。これらの提案は信用金庫として地域に貢献し、地域とともに成長する姿を表現するものとして喜ばれた。

